

現在の空振り地点

熱量不足ではない。読み手の「今」と噛み合っていないだけだ。

- わかりやすく書いている
- 内容も正しい
- それでも反応が薄い
- 読まれて流れて終わる
- 会話でも同じことが起きる
- 読み手の「今」と噛み合っていない

原因の特定

読者像のぼやけが、入口を塞いでいる

- 誰向けかが曖昧
- 読者像がぼやけている
- 今の悩みを外している
- 未来の話が先に出る
- 現在の引っかかりがない
- 必要な話が判定されない
- 入口で切られている

誤認の破壊

「誰にでも届く」は、結局「誰にも届かない」

- × わかりやすさ = 届く、ではない
- × 正しさ = 動く、ではない
- × 広く向ける = 強くなる、ではない
- × 未来提示 = 入口、ではない
- × 説明量 = 解決、ではない

読み手不在の整理は無意味。綺麗な文章が優位とは限らない。

基本構造の提示

「それ私もある」を日常から削り出す

- 誰に向けるかを先に決める
- 今の引っかけりに触れる
- 生活の一場面を置く
- 次の小さな動きを残す
- 揺れのある一文を入れる
- 最後に余韻を置く

変化の実感

流し見の手が止まり、言葉が居座る

- 自分ごととして読まれる
- 反応の質が変わる
- 気持ちが少し動く
- 押しつけ感が減る
- また読み返されやすくなる
- 読後に一言残る

最小アクション

冒頭3分の再構成

1. 直近の投稿を一つ開く
2. 冒頭に対象読者を書く
3. 今の悩みを一行足す
4. 未来の話を後ろへ回す

- 生活場面を一つ入れる
- 締めを「命令」から「余韻」に変える
- 三分で、誰のための一文かを定義する

資料の使い方

投稿前の「読者検品」リスト

- 投稿前の読者確認用
- 反応薄い時の見直し用
- ズレた入口の修正用
- 誰向けか迷う時の基準
- 順番設計の確認カード
- 余韻設計の点検表

次の選択肢

一人を、心の底から頷かせる

- 過去投稿を一つ修正
- 対象読者を一人に絞る
- 今の悩みから書き直す
- 反応差を比較する
- 一週間だけ続ける
- 必要なら外から調整する